



議会だより

12月定例会号

令和8年1月30日発行

No.176

こうみ



12月議会—第4回定例会—

こんなことが決まりました

②

議案質疑

④

一般質問

⑤

議会報告会

⑬

議会報告会アンケート結果・

⑭

各常任委員会の活動内容・編集後記

平和な1年になりますように(芦平のかあがり)

きかせて みんなの夢
みんなの未来に寄り添うまちに

議案質疑

7名の議員が町政を問いました

一般質問



- ご不明な点は議員にお尋ねください。また正式な記録は町ホームページにある会議録でご覧ください。
- YouTubeで動画を視聴できますので、是非ご覧ください。

YouTube配信QRコード



<1日目>



<2日目>

- | | |
|---------------------------|-------|
| 6ページ 佐久総合病院小海分院への財政支援の増額を | 鷹野 文則 |
| 7ページ 町の防災減災について町の考えは | 小池 喜昭 |
| 8ページ 鳥獣害対策について | 菊池 一巳 |
| 9ページ 町が目指す、これから地域の姿とは | 黒澤 敦史 |
| 10ページ 駅・アルルについてのお考えは | 渡邊 晃子 |
| 11ページ タクシー乗ってね券は廃止でいいのでは | 的埜美香子 |
| 12ページ 小海分院への支援の増額は、実施するのか | 渡辺 均 |

○一般質問とは

定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問することをいいます。

- | | |
|----------|--|
| Q | A 子ども家庭センター設置条例が制定されたが、今までとの違いは何か？ |
| Q | A 今まででも保健係保健師や子ども課が対応してきたが、一本化できておらず、相談後の手当ても十分ではなかつた。窓口の一本化を図り、内容により関係機関に迅速な対応を図る。 |
| Q | A 保健師で係長ポストを予定し、兼務で、という形を想定しています。 |
| Q | A センター長や統括支援員は誰が担うのか？ |

- | | |
|----------|---|
| Q | A 社会福祉協議会への補助金が1,144万円の増額になつていてが、原因は何か？ |
| Q | A 現在国会審議が続いており審議が終わりましたら追加議案で上程いたします。 |
| Q | A 人事院勧告がなされ、ベースアップがなされたと思うが12月の補正に提出されていないが。 |
| Q | A 事業の見直しが進まなかつたこと。移動販売事業も燃料費や人件費の高騰で200万円の補正が必要になつた。 |
| Q | A 小海小の下駄箱の更新工事について、学校長から何件か修繕要望があつたと思うが、今回下駄箱工事を優先した理由をお聞かせいただきたい。 |
| Q | A 新入生を迎えるときに年度初めから使用したいということです、その他の要望については緊急度を考慮して順次対応してまいりたい。 |



- | | |
|----------|---|
| Q | A 老朽化し耐用年数を経過した水道施設の維持管理は？ |
| Q | A 上水道を安定供給するため、計画的に建設改良費を計上し、水道管等の布設替えを順次行つていますが、有利な国庫補助等を使用し、町全体の供給計画に基づき、緊急性の高い箇所から順次更新し対応してまいります。 |
| Q | A 介護サービスは、在宅から施設に流れている。この流れにどのように対応するのか？ |

問 町の防災減災について町の考えは

答 町民課長 訓練内容を充実し住民の防災意識を高めたい



こいけ 喜昭議員

町民課長 指定緊急避難場所は、町関係の施設及び関係地区公民館にプラスして、その施設等の庭や駐車場グラウンドを含めて22か所です。指定避難所もほぼ同数です。

町民課長 小海町の指定緊急避難場所、指定避難所の場所と数、及び収容人数はどのくらいですか。

避難所について

近く収容が可能です。

町民課長 小池議員 指定緊急避難場所・指定避難所の違い、及び収容人数を小海町のホームページでも解るよう早急に変更をお願いします。

防災トイレの備蓄状況

であり、今後町民と町職員が一緒に実施するような訓練計画を進めさせていたいと思つております。

町民課長 災害トイレの備蓄状況、どのような種類のトイレがどのくらい、どこに備えてあるか、お尋ねいたします。

町民課長 テント付の簡易トイレが34基備蓄で、去年度より自動ラップ式の災害用のトイレを2基備えてあります。工事現場等にあるような洋式の仮設トイレが4基あります。八那池の防災倉庫にあり、ラップ式のトイレにつきましてトイレは、避難所ではかなり重要な物で、計画的に数量を増やしたいと考えております。



指定緊急避難場所



指定避難所

問 佐久総合病院小海分院への財政支援の増額を

答 町民課長 特別交付税の支援を南部協議会で検討中



たかの 鷹野 文則議員

町民課長 分院・診療所の経営課題は町としても深刻に受け止めています。小海分院も医業利益が悪化しているようですが、特別交付税措置により1,500万円補助しています。診療報酬は7割を超えており、労働環境の変動の基本の方針を伺います。

町民課長 想定を上回るスピードで進む人口減少や少子高齢化、人件費や物価の上昇により医療環境は激変しており、医業利益でみた赤字病院の割合は公定価格のため物価や賃金の上昇を転嫁出来ず経営を圧迫します。小海分院も医業利益が悪化しているようですが、特別交付税措置により1,500万円補助しています。診療報酬は7割を超えており、労働環境の変動の基本の方針を伺います。

町民課長 特別交付税では算定額と助成見込額の低い方を採用することになつていて、どちらが特別交付税法に基づいた補助が継続する限り支援を続ける方針です。今後も、地域住民の健康と安全を守るために財政支援を継続し地域医療の充実に貢献していく考えです。

町民課長 8月に分院より措置の増額要望がありました。南部広域行政推進協議会で5町村共同支援を協議し判断します。

町民課長 どちらを採用しても地元2割負担で、8割が特別交付税です。所在地の小海町が半分の1,500万円、4村が1,500万の助成です。

らも2割地元負担となるのか?

特別交付税の対象としては考えていません。分院中心に考へている状況です。分院との協議の中、施設整備や新規医療事業も課題です。特別交付税の中で支援していく方向で南部の協議会で検討していくので、御理解をお願いします。



問 町が目指す、これからの地域の姿とは

答 町長 地域の支え合いを育んでいく



くろさわ
黒澤 敦史議員

一般質問

問 町が目指す、これからの地域の姿とはどのようなものでしょうか。

答 総務課長 職員の異動や、地域に不慣れな職員が増えていくことが難しい面があります。一方で、職員が区長や役員と連携し、地域運営の伴走者として関わることが重要だと認識しております。今後はより密接に連携を図ってまいります。



問 人口減少や少子高齢化が進む中で、町は「区」をどのように存在として捉えていますか。

答 総務課長 祭りや環境美化、道普請などを担う自主的な地域運営と、行政情報の伝達や選挙運営などを担う重要な組織として位置づけています。区がなければ行政運営が成り立たないほど欠かせない存在です。山間部と中心部では課題が異なるため、区長会を通じて意見交換を行っています。

問 集落支援事業は、今の地域課題に合った制度になつていますでしょうか。

答 総務課長 従来のやり方を急に変えるのではなく、行事や作業の方法、回数を見直す等、無理のない形へ緩やかに転換していくことも重要だと考えます。各区の行事回数や区費などを整理した資料を作成し、区同士が参考にできるよう情報共有を進めています。

問 役場職員による地区担当制は地域支援として十分に機能していますでしょうか。

答 総務課長 近年は、人手不足や物価高騰の影響で、地域活性化事業よりも公民館の修繕や備品購入への活用が増えています。町では区民の作業参加を必須としないなど制度改正により区の負担軽減を進めましたが、制度が地域の実情に合っているか、今後も検証と見直しを行っていく考えです。

問 鳥獣害対策について

答 産業建設課長 猿友会員確保のための支援策を講じてゆく



きくち
菊池 一巳議員

一般質問

問 産業建設課長 公務員ハンターワクチンの導入を視野に入れた支援を検討して行きたいと思います。

答 産業建設課長 帯状疱疹の町単独のワクチン接種補助額を定期予防接種ワクチンの助成額と同額にできないか。

問 町民課長 今夏、県内外の参加を得て、高校生の女子ソフトボール大会が開催され、参加された選手関係者からの評判も良好で、30代以上の町民の希望者にワクチン接種ができる仕組みを考慮していただきたい。

問 産業建設課長 町として、猿友会の日常の活動にかかる経費、有害鳥獣に伴う手当、報酬金についての単価引き上げ等前向きに検討してまいりたい。

問 産業建設課長 猿友会員が高齢化や、後継者の確保もままならないなどで苦慮しています。そこで猿友会員確保のための支援策を講じていただきたいが。

問 産業建設課長 緊急銃猟については、限定された場所に実施する予定ですが、皆さんの意見を聞いて、詳細に制度を構築してまいります。

問 町民課長 40歳以下の約4割の人が罹患しているという現実の中で、30代以上の町民の希望者にワクチン接種ができる仕組みを考慮していただきたい。

問 生涯学習課長 宿泊施設の確保には、既存の宿泊施設を最大限活用することが大前提となります。宿泊施設の確保に努め、合宿の町づくりによる地域活性化対策を講じていただきたい。

問 町民課長 いろいろな機会を通じて情報発信をしてまいります。な広報手段を駆使して、町民に広く知らしめる努力をしていただきたい。

合宿の町で地域活性化を

問 タクシー乗ってね券は廃止でいいのでは

答 町長 タクシーだけでなく、飲食店の繁栄にもなる



まとの
的埜 美香子議員

一般質問

問 実際には飲んだ後の足の問題であつて、生活利便性向上というのか？そもそもタクシー利用助成の目的とはかけ離れているのではないか。廃止にしてもいいのでは。

的埜議員 町民の要望とかけ離れた補助金あり得ない。これが黒澤町長の福祉政策であります。他の遊休農地、対策、林業政策、物価高騰対策について質問しました。



問 町長の公約から
人口流入増加・移住定住促進政策について

町長 村上団地宅地造成をしきていな状況どうするのか。

問 町長 物価高騰、賃金の高騰、金融機関の貸し渋りなど計算違いだった。何らかの施策を講じなければならない。不公平感が出ないように建売住宅、公営住宅を考えています。

問 37区画中、7区画しか販売できない状況どうするのか。

総務課長 長期振興計画での今必要なことを後回しにし、時に思いついたことを考慮せずに拙速に進めた結果ではないか。JAと土地交換をした馬流土地も4年間後利用が決まらないまま、どうするのか。

問 町長 第二分団の駐車場整備が急務。そして、私としては町営住宅という計画をすすめたい。なぜできなかつたのか。

問 総務課長 飲食店の振興、タクシー利用助成券の枚数制限は検討されたか。

町民課長 乗つてね！券の方はコロナ対策だつたと思うがいつまで続けるつもりか。

問 町長 私は飲酒で使わせていただいている。飲食店の繁栄にも繋がる。廃止という話になれば、タクシーは廃止の方に向つていく。そうなる前

問 検討をしてきたグループの要望とかけ離れた補助金あり得ない。これが黒澤町長の福祉政策であります。他の遊休農地、対策、林業政策、物価高騰対策について質問しました。

に手を打つている。

問 駅・アルルについてのお考えは

答 町長 町民が皆集え元気になれる場所づくりの投資



わたなべ
あきこ
渡邊 晃子議員

問 未満児の場合、下の子を産んで3か月で退園しなければならない現行かと思うが。（育休退園）

町長 不具合があれば改善していくということをしたい。

問 相談体制の現状は。

こども課長 去年から臨床心理士の先生に毎月1回来園頂き、気になる子を見て頂いたり保護者・保育士の悩みなどを

問 佐久穂町をならつて、1人の子をしつかり見ていく体制の充実を。

教育長 あゆみ園の在り方、保育園の相談体制、しつかり構築していきたい。

問 人員配置は。

こども課長 増築工事後は増員し、総合的に見ながら体制の見直しも検討したい。

問 今後の対策の強化は。

教育長 こども家庭センターに心の専門家をぜひ。

町長 現場からの声も大変起つております。必要とあらば採用は考えております。

問 今後はどのような体制で運営を目指してまいります。

教育長 こども家庭センターを設置し、学校現場があそに相談したら何とかなるという組織運営を目指してまいります。

町長 これだけのお金（資料で1億980万円）をかけてきたが、町の大きな計画にきちんと位置付けられない。一生懸命補助金を持つていても後維持管理費などについて明確な考え方何も出てきていないのは大問題。

渡邊議員 町民が皆集える元気になれる場所づくりの投資とお考えください。

問 アルル・駅のお考えは。

総務課長 老朽化をしているので、指摘になることもございます。改善できるよう進めているところです。

問 2024年度小・中学生の不登校は県でも188人増の7,248人。町の受止め、現況は。

教育長 小学校は数人。北牧楽集館に出向いてもらうとかいろいろなケースで対応しております。

町長 2024年度小・中学生の不登校は県でも188人増の7,248人。町の受止め、現況は。

不登校・支援の必要な児童や保護者の対策について

町長 町民が皆集える元気になれる場所づくりの投資とお考えください。

一般質問

総務課長 老朽化をしているので、指摘になることもございます。改善できるよう進めているところです。

第2回小海町議会報告会

①再造林を担う人材確保をいかに導くか、
②補助申請の簡略化などで民間事業者の補
助申請の簡略化などを図る手立ての検討
③支障木処理などに関わる経費への助成
④若手林業者への技術指導体制の充実など
を報告した。

総務産業常任委員会

令和7年10月19日（日）に、2回目となる議会報告会を北牧楽集館多目的ホールにおいて開催しました。総務産業常任委員会は東京都奥多摩町の移住定住施策の視察報告及び町の森林と林業の現状についての調査報告を行いました。民生支援施策の視察報告及び小海小学校の视察報告を行いました。また、常任委員会と一緒に分科会として参加者と意見交換会を行いました。その内容につきまして、報告いたします。

民生文教常任委員會

分科会の運営について、質問時間が短く議論が深まらない、などの意見も出された。民生文教常任委員会の意見交換会では、次のような意見が出ました。今後の議会活動に生かして行きたいと思います。

小池喜昭議員

・議会報告会について
議会報告会は、町民が町政を知りうる上
では大事なことであり、続けて開催され
ることを望みます。

チラシの全戸配布、学校での保護者配布など、更に開催時期や開催時間の検討が必要である。

2・子育て支援課からこども課への変更について

・保育園から小学校への繋がりを意味のありのこども

A photograph showing a group of approximately ten people seated around a large rectangular conference table in a meeting room. The participants are dressed in professional attire, including suits and blazers. They appear to be engaged in a formal meeting or presentation. On the table, there are several papers, a laptop, and a white computer monitor. The room has light-colored walls and curtains in the background.

問 小海分院への支援の増額は、実施するのか

答 町長 出来る限りの支援はします

分院支援について

問 現在町負担300万円。国の特別交付税で1,500万円となつてゐるが。

町長 1,500万はボーダーライン（最低）で、他町村と協議し、出来る限りの支援はします。

問 新たな医療や介護、福祉サービスを検討し、医師の確保を提案したが、そのような医師の配置を町は検討できなか。



わたなべ ひとし
渡辺 均議員

木業の振興に向ひ

問 再造林を担う若手林業者の育成をどう進めるか。

問 直売所に1千万円の補助 直売所対策

を出す大義は何か。

一般質問

渡辺議員
係の医師など、要望はあるが
確保が難しい。
医療をベースにス
クールカウンセラーやソーシ
アルワーカーといった精神科
系統の医師が必要で、分院と
連携し、住みよい町づくりを
お願いします。



もた近事が近
てこない

問 森林環境贈与税の活用に向け、県林務のOBを雇い入れ、事務代行をお願いし、補助申請を増やす、南佐久南部4村にはいるが小海にはない人材確保できなか。林政アドバイザーがいる。農林係も2名いる。対応できている。

問 直売所に1千万円の補助 直売所対策

問 直売所に1千万円の補助を出す大義は何か。

総務課長 町内で地産地消の循環を生むのが直売所の設置目的である。

問 お米の価格が高騰し消費者が困っている。生産者からの買い取り価格と消費者への販売価格の差額を直売所で調整し、生産者には相場より高く、消費者には割安で提供、これで直売所の売り上げアップを図る。9月議会で提案したが、実施できないか。

町長 小海のお米は自家消費や親せきなど、行き先が決まっており、町への供出は難しい。

議会報告会アンケート結果

● 参加者からのご意見

- ・報告会の時間が中途半端。
- ・積極的に参加しますので開催してください。報酬・定数の件も報告してください。
- ・各委員会の報告の説明は良かった。
- ・参加者が少なすぎるので残念。議員各位が支持者を勧誘すべきである。R6:14人。R7:10人? (内役場関係3人)。
- ・議員個人としてもっと勉強してほしい。
- ・総務産業の奥多摩町視察についての報告ですが、各グラフや定住応援についての内容について、小海町のグラフも載せて

発表していただけるともっとわかりやすかったかと思います。議員さんの報告からも「小海の方が良い」や「小海の方が大変」とのお言葉ありましたが、どのくらい違うのかわかりにくかったため。ぜひ今後も続けていただきたいです。報告会のお時間作ってくださいましてありがとうございました。

・意欲的な取り組みで大変良いと思います。進行は難しいですね。

・町民にとってこの報告会は貴重な場になるはず。しかし2回目にもかかわらず出席者が少ないのは残念。町民の意識を高める方策や広報の方法等、今後に向けて考えていただきたい。

年代

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代~
実数	10	0	0	0	1	2	2	5

知ったきっかけ

	全体	回覧板	口コミ	ポスター	HP	その他
実数	10	6	4	0	0	0

参加した理由

	全体	興味があった	知人に勧められた	その他
実数	10	0	0	0

① 内容について

	全体	大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
実数	10	2	5	3	0	0

② 内容のわかりやすさ

	全体	大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
実数	10	0	6	3	0	1

各常任委員会の活動内容

○ 総務産業常任委員会

令和7年7月11日
(1回目)
南佐久中部森林組合視察

令和7年8月29日
東京都奥多摩町視察

令和7年9月18日
町内林業者との意見交換会

令和8年1月30日
南佐久中部森林組合視察
(2回目)

令和8年1月30日
小海小学校視察

○ 民生文教常任委員会

令和7年7月18日
令和7年8月29日
東京都奥多摩町視察

令和7年8月29日
小海小学校視察

令和8年1月16日
小海なかよし児童館視察

令和7年10月30日
佐久穂町こども課、
小海保育所、
小海なかよし児童館視察

子育て座談会開催
令和8年1月16日

編集後記

令和7年の漢字一文字が、一位、熊、二位、米が選出されました。そうした世相を反映してか、12月定例会での一般質問でも、この漢字をキーワードとした、質問が3人の議員からなされました。今年度開催された松本での議員研修会で、地方創世の力が語ったなかで、地方議員のひとりが語ったなかで、地方議員の一般質問は提案提言型があまりないと力説していました。聞くところによる

と、佐久穂町ではほぼ全員の議員が、佐久市でも9割がたの議員が一般質問に臨んでいるとのこと、3月の選挙で選任される町長に対し、提案提言に心掛けた一般質問をぜひ全員の議員がされるよう望みたいと思いま

す。

(編集委員 菊池 一巳)

編集委員長	菊池 一巳	編集責任者	菊池 一巳
編集委員	鷹野 哲雄	編集委員	篠原 英一
編集委員	渡辺 文則	編集委員	篠原 英一
編集委員	的埜 美香子	編集委員	篠原 英一
編集委員	均	編集委員	篠原 英一